

4月1日から

資源物の収集日が

排出ルールを守ることで
リサイクルの第一歩

このような「3R」に適したもので、再利用できるような形でステーションに出さないと単なる「ごみ」となってしまう。

- そこで住民のみなさまに守っていただきたいルールが3つあります。
- ① キャップをとる
 - ② 中をさっと洗う
 - ③ あきびん以外のものは混ぜない



地球規模の環境問題、限りある資源、住みやすい環境を守るといった大きな目的も、住民の方一人ひとりの行動にかかっていると、言っても過言ではありません。

皆さんのご理解とご協力を
よろしくお願いします。

ルール3

あきびん以外のものを混ぜない。

耐熱ガラスや陶磁器などは、ガラスびんの品質に大きく影響します。あきびんと混ぜないでください。



耐熱ガラス ガラス製品でも、鍋のふたや電子レンジ用の食器など、耐熱ガラスを使ったものは、ガラスびんとは組成が大きく異なります。

混ぜたまま出されると、ガラスびんとは溶ける温度が異なるため溶けずに残り、びんの強度を損なう原因になります。

しかもこれらのガラスはびんガラスと見分けがつきにくく、特に割れた状態で混ぜられると、分別はほとんど不可能です。そこで、家庭などからの出す時点で、しっかり分別することが必要不可欠です。

陶磁器類 茶碗や湯のみ、コーヒーカップなどの陶磁器類は、ガラスびんに似た材質ですが、混入したまま出されるとびんの強度を大きく低下させます。

その他に混ぜてはいけないガラス類

化粧びんなどが入っていた乳白色のびん ガラスびんの原料になりません。

農薬・劇薬が入っていたびん 資源化の過程で有毒なガスを発生するおそれがあります。

割れたびん 燃やせないごみに出してください。

正しくマナーを守り、快適なまちづくりを!!

びんの分別収集に関することは、安平・厚真行政事務組合(☎23151)または安平町住民生活課(☎2321)までお問合せください。

ルール1

キャップを取る。

キャップはリサイクルの妨げになります。必ずキャップを外して出してください。

※外れにくい中栓は無理に外さず、そのまま出してください。また栓を外す際には危険のないように十分にご注意ください。

金属キャップ類 王冠やアルミキャップ、ガラスびん口部の金属シール、密封シールなどがついたまま出されると、ガラスびんをつくる時に溶けずに残ったり、キズやヒビをつくる原因になり、ガラスびんの強度を低下させます。



ルール2

中をさっと洗う。

あきびんに中身が残って汚れていると、リサイクルの工程で悪臭が発生して、非常に不衛生です。中身を出して、中を軽く水洗いしてください。

※はがしにくいラベルは、無理にはがさないでください。

